

緊急決定



ウクライナ支援国際交流コンサート

～古の都奈良から祈る世界平和の調べ～

～ Gebet und Freude ～

祈り×歓喜

Program

- ◇ ヘンリーマンシーニ：映画「ひまわり」挿入曲
- ◇ ウクライナ国歌
- ◇ 君が代
- ◇ マスカーニ：「カヴァレリア・ルスティカーナ」
- ◇ J シュトラウス：
喜劇「こうもり」より「侯爵様、あなたのようなお方は」
- ◇ モーツァルト：歌劇「ドン・ジョヴァンニ」から「お手をどうぞ」
- ◇ モーツァルト：歌劇「ドン・ジョヴァンニ」から カタログの歌
- ◇ ビゼー：歌劇「カルメン」より闘牛士の歌
- ◇ イホール・ツァモー：私のキーウ <ウクライナ曲>
- ◇ さだまさし：平和のたね、夢見る人、奇跡～大きな愛のように～
- ◇ ヴィヴァルディ：2つのチェロのための協奏曲ト短調 RV 531
- ◇ ゾルタン・アルマシ：チェロソロ Suite nr.1 <ウクライナ曲>
- ◇ ミロスラフ・スロコク：映画「高き峠（ハイパス）」よりメロディ
- ◇ エンニオ・モリコーネ：ガブリエルのオーボエ
(映画「ミッション」挿入曲 [遠藤秀安 / 編曲])
- ◇ ミコラ・リセンコ：
ウクライナ民謡の主題による第1狂詩曲 Op.18 <ウクライナ曲>
- ◇ ミコラ・レオントヴィッチ：「シュチェドリック」2つのチェロのために編曲ゾルタン・アルマシ <ウクライナ曲>
- ◇ シューベルト=リスト：アヴェ・マリア
- ◇ ベートーヴェン=リスト=金子三勇士：
交響曲「第九」第4楽章
～フロイデ！～
奈良オリジナルバージョン
- ◇ パブロ・カザルス：鳥の歌
- ◇ アストル・ピアソラ：ル・グラン・タンゴ

※曲目、曲順が変更になる場合がございます。 ※新型コロナウイルス感染拡大対策には細心の注意をしておりますが、やむを得ず出演者が変更になる場合もございます。

日時 2022年12月11日(日) 18:00開演

会場 奈良県文化会館国際ホール

ロシア軍事進攻により今なお甚大な被害を受け続けているウクライナ。世界各国より支援が行われているが、ウクライナ西部国境沿いは支援から取り残された“空白地帯”。その空白地帯で支援活動を行っているNPO法人テラルネッサンス、及び在日ウクライナ大使館にコンサート収益の一部、募金を二等分にして寄付いたします。

コンサートは日本に避難してきたウクライナ人チェロ奏者のテチアナ・ラブロワ、ヤーナ・ラブロワ、日本在住のオペラ歌手デニス・ビシュニユ（バス、ウクライナ出身）、日本を代表するピアニストの金子三勇士、栗原麻樹、新藤昌子（ソプラノ）、加藤寛二（指揮）、奈良フィルハーモニー管弦楽団、鹿ノ台アザレア合唱団、司会アンナ・ミツェル（NHK出演、YouTuber、ウクライナ出身）が出演します。また奈良県民、及び近隣に在住のウクライナ人、避難民に呼びかけてコール・アンセム合唱団（国歌合唱団）を組成して国歌斉唱を紡ぎます。



金子三勇士

チケット販売
取扱い

発売日：2022年11月5日
※一部取扱い日変更

奈良県文化情報センター
(文化会館内)

TEL 0742-22-0200
※11月9日(水曜)より
取扱い開始

奈良フィル事務局

TEL 0743-57-2235
FAX 0743-56-5666

プレイガイド

- チケットびあ/Pコード：230724
- イープラス：※11月7日(月)より取扱い開始
- LivePocket/イベントID：181195
※各取扱いコンビニエンスストア

全席自由

前売	7,000円(税込)	8,000円(税込)
当日	7,500円(税込)	8,500円(税込)
※オンライン配信予定 後日お知らせします		内、1,000円は ウクライナ支援金



新藤昌子



テチアナ・ラブロワ



ヤーナ・ラブロワ



デニス・ビシュニヤ



栗原麻樹



アンナ・ミツェル



マッテオ・チェッカーニ



加藤寛二

〈注意事項〉

- ※12月11日(日)は「奈良マラソン2022」開催のため、マラソンコース及び周辺道路において交通規制が実施されます。ご不便・ご迷惑をおかけし、申し訳ありませんが、公共機関をお使いください。
- 交通規制へのご協力をお願い | 奈良マラソン2022 (nara-marathon.jp)
- ※未就学児の入場はご遠慮ください。※マスクの着用をお願いいたします。
- ※37.5度以上の方は、入場をお断りさせていただきます。※オンライン配信予定、後日お知らせ致します。

ホームページは
こちらから

<https://nara-ukraine-aid-concert.com/>



主催：ダイヤモンドエンタテインメント株式会社 / 後援：在日ウクライナ大使館、奈良テレビ放送株式会社
 協力：株式会社ジャパンアーツ、奈良県合唱連盟、株式会社タック、トーマス行政書士事務所、奈良フィルハーモニー管弦楽団、今井彰香、遠藤秀安、電波屋株式会社、内田さつき、クラブサン工房アダチ、ケイ・エム・トレーディング合同会社、株式会社ケーワイアイ、小倉菜摘、井手はるな ※順不同 / 特別協力：日本ウクライナ音楽協会 / 賛同：認定NPO法人テラルネッサンス
 【問い合わせ】ウクライナ支援コンサート事務局 nara.ukraine.aid@gmail.com 企画制作：境野康幸 / 音楽芸術監督：松本智臣

特定非営利活動法人奈良フィルハーモニー管弦楽団

奈良フィルハーモニー管弦楽団は「奈良にプロ・オーケストラを」と、志ある音楽家たちが集い、1985年に初代団長(故)全良雄氏が創立。現在大原末子氏が団長に就任。メンバーは、高度な音楽教育を受け、ソロやアンサンブル等にも活躍する他、積極的に後進の指導にもあたっている。その音の美しさ、緻密なハーモニーと高い芸術性は聴衆から高く評価をうけている。第22回定期演奏会は日本を代表する指揮者秋山和慶氏を迎え好評を博した。重厚なクラシック・スタイルから親子向けファミリーコンサート、そしてレクチャーコンサートからサロンコンサートまで、幅広い顔を持つオーケストラとして奈良県内に広く親しまれている。奈良県をはじめとして県内自治体主催のイベント、フェスティバルに、また県内各所の文化会館やホール主催の公演にも数多く出演し、地域の文化芸術の発展に貢献している。県外においても、近畿一円の公共団体から招かれ各地で演奏活動を行っている。正指揮者に粟辻聡氏を音楽アドバイザーに延原武春氏を迎え更なるステップを目指し名実ともに「わが町・奈良のプロ・オーケストラ」として多くの県民の強い支持を得ている。全国32番目のプロ・オーケストラとして日本オーケストラ連盟に籍を置く。

金子三勇士(ピアノ)

1989年日本人の父とハンガリー人の母のもとに生まれる。6歳で単身ハンガリーに渡りバルトーク音楽小学校に入学、2001年からは11歳でハンガリー国立リスト音楽院大学(特別才能育成コース)に入学。2006年に全課程取得とともに帰国、東京音楽大学付属高等学校に編入する。東京音楽大学を首席で卒業、同大学院修了。2008年、バルトーク国際ピアノコンクール優勝の他、数々の国際コンクールで優勝。第22回出光音楽賞を受賞。これまでにソルタン・コチシュ、小林研一郎、ジョナサン・ノット他と共演。国外でも広く演奏活動を行っている。NHK-FM「リサイタル・パッシオ」に司会者としてレギュラー出演。2019年5月にはCD「リスト・リサイタル」をリリースした。2021年には日本デビュー10周年を迎え、それを記念して2022年3月にドイツ・グラモフォンより新譜CD「フロイデ」をリリースした。コロナ禍でも、オンラインを活用したさまざまな企画を発信中。キシュマロシュ名誉市民。スタインウェイ・アーティスト。

新藤昌子(ソプラノリコレクティヴ)

桐朋学園大学音楽学部声楽科卒業、同研究科修了。1988年モーツァルト作曲歌劇「魔笛」童子I役でオペラデビュー後、二期会オペラ講座「ルル」東京室内歌劇場文化庁公演「うたよみざる」「みるなの座敷」「ラク・オペラティック」現代音楽協会モノオペラ「赤ずきん」日本オペレッタ協会「白馬亭にて」東京アートオペラ「トリスタンとイゾルデ」を始め古典から現代作品まで多くのオペラに出演、2023年にはオペラデビュー35年を迎える。キリンチャレンジカップ2022、キリンカップ2022駐日大使閣下の依頼により、国歌独唱。東京2020内閣官房ホストタウン事業において、国歌アドバイザーを拝命し、国歌の成り立ちから発音、歌唱指導までの講座を開講。国歌の「うたう研究者」として著書2冊。メディアでは「題名のない音楽会」NHK、BS、NHKFM/TBSラジオ、等に多数出演。NHK WORLD JAPANより特集番組にて「Olympic Anthem Queen」と称された。現在二期会会員。NPO法人世界の国旗・国歌研究会共同代表。東京大学大学院情報学環作曲・指揮研究室演奏主任。

テチャナ・ラブロワ(チェロ)

ウクライナ国立キエフ・チャイコフスキー音楽院卒業、1996年から30年に渡り、ウクライナ国立歌劇場のチェリストを務める。歌劇場での活動の傍ら、キエフ室内管弦楽団で第3チェロ奏者、ポリス・リヤトシナ国立クラシック音楽アンサンブル(ピクチャー・アイコンック指揮)で第1チェリスト(ソリスト)を、キーフスカ・カメラータでは第3チェリストを務め、マチュエラ・オトラフェスティバル(2004)に参加。直近ではウクライナ国立歌劇場(バレエ「勝者ワルツ」-チェロのロマンス)でソロパートを演奏し、2022年3月3日に4回目の演奏を行う予定だった。ヴォロディミール・パンテレエフ(Volodymyr Panteleyev)に師事。※今年3月にウクライナから日本へ避難。

ヤーナ・ラブロワ(チェロ)

国立ロッシーニ音楽院(イタリア・ペーザロ)卒業。オーケストラ・デルテアトロレジオ・ディ・パルマ、オーケストラ・シンフォニカG・ロッシーニ、オーケストラ・フィラルモニカ・マルキジャーナ等で演奏。ソリストと室内楽奏者として、国内および国際的なコンクールに参加。若手音楽家のための国際コンクール「MuzikaNadezhdi」(ホーム・ベラルーシ)、アカデミックおよびコンテンポラリー・ミュージックの国際フェスティバル「Farbotony」(カニウ、ウクライナ)、国際コンペティション「21世紀の芸術」(ヴォーゼル、ウクライナ)、ウクライナ・ジュリ・ポランスキー・キエフを偲んでのウクライナ全国大会、子どもと若者のための国際アートコンペティション「SribnyDzvin」(ウジホロド、ウクライナ)等において、優秀な成績を収める。クラウド・カサデイ(Claudio Casadei)に師事。※今年3月にウクライナから日本へ避難。

デニス・ビシュニャ(バス)

ウクライナ生まれ。キエフ国立音楽院卒業後、キエフ市立歌劇場ソリストとして数多くの公演に出演。「New Names Competition」第1位(ウクライナ)、Golden Orpheus賞受賞。2010年、アレナ・ディ・ヴェローナ日本公演「アイーダ」、P.ドミンゴ指揮エジプト国王、小澤征爾指揮「フィガロの結婚」バルト、A.セツダ指揮「セビリアの理髪師」バジリオ、井上道義指揮「ドン・ジョバンニ」騎士長等で出演。びわ湖オペラ「リゴレット」スバラフチーレ、「ラインの黄金」ファゾルト等で出演。日生劇場「ボエーム」コッリーネ、「魔笛」ザラストロ等で出演。「第九ひろしま」、NHK-FM「リサイタル・パッシオ」に出演。2017年には日本・ウクライナ外交関係樹立25周年記念コンサートにキエフ、チェルニーヒウで出演。

栗原麻樹(ピアノ)

1988年12月東京生まれ。3歳より母の手ほどきによりピアノを始める。幼少の頃より、ヤングアーティストピアノコンクール、ピティナ・ピアノコンペティション、全日本学生音楽コンクール等、数多くのコンクールに上位入賞。2000年、2002年 浜松国際アカデミーコンクールにて第5位、第4位、併せてモストプロミッシングアーティスト賞を受賞。2005年 フランス アルカッション国際ピアノコンクール第1位。大阪国際音楽コンクール第2位。この後16歳でフランス・パリに渡り、パリコンセルヴァトワール(パリ国立高等音楽院)に満場一致にて入学。バリエコルノルマル音楽院の最高課程を終了、パリスコラカントルム音楽院のコンサートリスト課程を満場一致にて終了。2009年マイエンス国際ピアノコンクール第1位。2010年から1年間文化庁海外芸術家研修員としてパリに派遣される。現在、地方音楽院講師、日本演奏連盟会員、全日本ピアノ指導者協会演奏会員。この間、かつしかシンフォニーヒルズ、パリ日本文化会館(仏)、カワイパウゼ、銀座ヤマハホール、南麻布セントレホールなど、国内外で数多くのリサイタルを開催し、好評を博す。これまでに深澤亮子、中村麻子、藤井一興、國谷尊之、中沖玲子、ジェルメヌ・ムニエ、ブルーノ・リグット、フセイン・セルメット、ジャン＝マルク・ルイサダ、ガブリエル・タッキオー、エリック・ベルジョー各氏に師事。

アンナ・ミツツェル(司会)

ウクライナの首都キーウに生まれる。2000年来日。多数のCommercial Model(CMモデル)を務める。YouTuberでもあり、自分でYouTubeへの出演も行う。世界法廷ミステリー(フジテレビ)、アメージング!(TBSテレビ)、キレ考えた人、天才じゃね(テレビ東京)BENTO EXPO(NHK総合)出演。

マッテオ・チェッカーニ(デジタルアート・音楽解説)

2009年にヨーロッパで非常に名譽のあるENI賞を「Best Emerging Artist of the Year (2009年最高の若手美術家)」として受賞。2011年にベニスビエンナーレに出展するのにイタリアの外務省に選ばれ、更に「ベニスビエンナーレにおけるイタリア若手美術家大賞」マリアカラス協会賞を受賞。現在は日本に拠点を置き、イタリアを代表する画家として駐日欧州連合代表部にて作品を永久展示されるほか、日本の大手企業や各界の著名人から依頼を受けて作品を制作するなど、活躍を続けています。ルネッサンス期から受け継がれてきたイタリア絵画の伝統を守り、巨匠たちからインスピレーションを得たメタファーに富んだ、調和のとれた写実的な絵画を制作。同時に、現代のテクノロジーとその可能性に魅了されています。また、CADを駆使して絵画のフレームをデザインしたり、コンピューターグラフィックスを駆使して、伝統と現代を融合させた独自の環境を創造している。

加藤完二(指揮者)

1957年京都に生まれ、4歳よりヴァイオリンを始める。大阪音楽大学器楽科ヴァイオリン専攻を卒業後、指揮活動開始。1990年伊丹アイフォニックホール専属のアマチュアとプロ合同のオーケストラ「伊丹シティアフィルハーモニー管弦楽団」の初代常任指揮者に就任する。ルーマニアで行われた「第2回 デュ・ニクス 国際指揮者コンクール」において入賞。同時に審査員特別賞も獲得。2004年より兵庫県芸術文化センターのスーパーキッズオーケストラ立ち上げに佐渡裕氏のアシストとして指導を任される。その後、京都市少年合唱団の音楽監督に就任。2020年アムステルダムフィルハーモニー管弦楽団の正指揮者に就任。これまでに、兵庫県新進芸術家奨励賞、伊丹市芸術家協会新人賞を2020年には伊丹市民文化賞受賞。現在、大阪音楽大学、同志社女子大学各非常勤講師、京都市少年合唱団音楽監督、伊丹シティアフィルハーモニー管弦楽団常任指揮者

鹿ノ台アザレアコーラス

1982年に結成し奈良県合唱連盟に加入。1990年には10周年記念リサイタルを主催。以後、5年毎にリサイタルを開催している。関西合唱コンクールにも出場し、金賞等数々の賞を受賞。1992年ロイヤルオペラハウスの歌手たちによるオペラ・ガラコンサートに出演。1996年には全日本おかしなコーラス全国大会に出演、本年8月に開催された全日本おかしなコーラス全国大会に奈良県代表として12回目の出場を果たす。



認定NPO法人テラル・ネッサンス

認定NPO法人テラル・ネッサンスは、「すべての生命が安心して生活できる社会(世界平和)の実現」を目的に、2001年に鬼丸昌也によって設立された国際協力NGOです。現在の活動地域は世界8か国で、100名を超える職員、インターン、ボランティアによって運営されています。カンボジア、ラオスでは、地雷や不発弾の撤去支援や地雷埋設地域の生活再建支援に取り組み、ウガンダ、コンゴ民、ブルンジでは元子ども兵や難民の方を対象とした自立支援を実施しています。また、日本国内では平和教育(学校や企業向けの研修)や政策提言活動に取り組み、さらに、若手県大槌町では東日本震災復興支援を契機とした大槌町を運営。2022年より、ハンガリー・ウクライナにおいて難民・避難民への緊急支援にも取り組んでいます。団体創設より20年以上にわたる活動を様々な視点で評価いただき、以下のような受賞歴があります。「地球倫理推進賞」(社団法人倫理研究所)、「地球市民賞」(独立行政法人国際交流基金)、「エクセレントNPO」組織力賞ノミネート(エクセレントNPOを目指す市民会議)、「社会貢献者表彰」(公益財団法人社会貢献支援財団)、「日経ソーシャルイニシアチブ」国際部門賞ファイナリスト(日本経済新聞社)、「企業価値認定」(一般社団法人企業価値協会)、第4回ジャパンSDGsアワード副部長(外務大臣)賞、第52回毎日社会福祉顕彰など、国連経済社会理事会特殊協議資格NGO。

名称:特定非営利活動法人テラル・ネッサンス

所在地:京都府京都市下京区五条高倉角堺町21番地jimukinoueda bldg. 403号室

URL:https://www.terra-r.jp

理事長:小川 真吾

設立:2001年10月31日(2014年5月30日より認定NPO法人)

事業内容:「地雷」「小型武器」「子ども兵」の課題に対するアジア・アフリカでの支援活動、および国内での「平和教育」を中心とした啓発活動 等

